

*English follows Japanese.

番号	項目	内容
1	奨学金No.	1
2	奨学金名称	KDDI財団外国人留学生助成
3	応募方法	学内選考あり(推薦者数は6名まで) ただし、同一国籍の学生が全応募数の半数を超えないよう調整する。 1名の指導教員につき推薦できる留学生は1名に限る。
4	支給額	月額10万円
5	支給期間	2026年4月1日～6ヶ月または12ヶ月
6	応募資格・条件	<ul style="list-style-type: none"> 日本以外の国籍を有する者。(日本と他国の重国籍を有する者は応募不可/対象国籍は募集要項の5ページ目<対象国籍>を参照。) 在留資格「留学」を有する者。 2026年4月1日現在 35歳以下である者。 申込時および助成期間中を通し、本学の修士課程または博士課程に正規学生として在籍する者(研究生、入学・編入学見込みの者は応募不可)。 本学の修士課程に在籍し、助成開始時または助成期間中に博士課程へ進学する者は、応募可。(進学後に在学証明書を提出) 助成開始時点(2026年4月)で博士課程3年在籍予定のものは学位取得を条件とする。 →「指導教授の推薦書」に学位の取得が見込まれることを必ず記述。 研究内容が、法律、政治、経済、社会、文化、技術の分野において、情報通信またはこれと関連する事項をテーマとした研究に取り組んでいること。
7	奨学生の義務	助成金受給者は、助成終了時に研究の結果を「Final Report」として報告しなければならない。フォーマットはシステムに掲示される。 なお、報告の義務を怠った場合、助成金を返納する場合がある。
8	日本語能力	財団へ提出する申請書は英語での入力が可能である。
9	応募期間	2025年6月11日(水)～7月2日(水) 17時
10	学内選考結果発表	2025年7月8日(火)頃 応募者のうち推薦が決定した者に対し大学メールにて通知する。学内選考結果発表日にこの通知メールが届かない応募者は、非推薦とする。
11	学内選考で提出する書類	(1)学内選考用申請書 (2)成績証明書
12	財団へ提出する書類	<p>(学内選考を通過した場合)</p> <p>(1)Application Form 1(所定の様式: Wordファイル) 財団へは提出しないが、財団登録システムに大学担当者がデータを登録する際に使用する。 英語の記入が可能。</p> <p>(2)Application Form 2(所定の様式: Wordファイル) 必ずPCでデータ入力で作成すること。ただし申請者の署名は自筆のこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究の概要と計画 研究内容と通信との関連性 自国と日本との関係貢献について 主な発表論文等(5件以内) 主な賞 語学能力習熟度 主な学歴・職歴、日本国内のアルバイト等、帯同家族 <p>(3)指導教員の推薦状(所定の様式: Wordファイル) 指導教員がPCのデータ入力で作成する。ただしsignatureは自筆のこと。</p> <p>(1)はWordファイル、(2)と(3)はPDFファイルで提出すること。</p>
13	備考	<ul style="list-style-type: none"> 他の機関から奨学金、学費・生活費の援助を目的とする助成金、給与等を受給する者については、その援助額と本財団からの助成額の月額の合計が10万円を超えないよう調整する。ただし、大学からの奨学金については、調整の対象外である(大学の資金であること)

(This document is translated using the AI translator DeepL.)

No.	Item	Contents
1	Scholarship No.	1
2	Name of Scholarship	KDDI Foundation Scholarship
3	Application Process	On-campus selection available (up to 6 nominees) However, adjustments will be made so that no more than half of all applications are from students of the same nationality. Only one international student per faculty advisor may be recommended.
4	Stipends	¥100,000 / month
5	Duration	6 or 12 months from April 1, 2026
6	Eligibilities and Disbursement Requirements	<ul style="list-style-type: none"> • Applicants must have a nationality other than Japanese. (Applicants with dual nationality of Japan and another country are not eligible to apply. For eligible nationalities, please refer to <Nationalities> on page 5 of the application guideline.) • Applicants must have the status of residence "Student". • Applicants must be under 35 years old as of April 1, 2026. • Applicants must be enrolled as a full-time student in a master's or doctoral program at the university at the time of application and throughout the grant period (research students, prospective students, and transfer students are not eligible to apply). <p>Those who are enrolled in a master's course at the University and will enter a doctoral course at the time of application or during the grant period are eligible to apply. (Submit a certificate of enrollment after entering a doctoral course.)</p> <p>Those who will be enrolled in a doctoral course for three years at the time the grant starts (April 2026) must obtain a degree.</p> <p>→The applicant must state that he/she is expected to obtain a degree in the "Letter of Recommendation from Supervisor".</p> <ul style="list-style-type: none"> • Applicants must be engaged in research on information and communications or related matters in the fields of law, politics, economics, society, culture, or technology.
7	Scholar Obligations	Grant recipients must report the results of their research in a "Final Report" at the end of the grant. The format will be posted in the system. Failure to comply with the reporting requirements may result in the return of the grant.
8	Japanese Language Proficiency	Applications submitted to the Foundation may be typed in English.
9	Application Submission Period	Wednesday, June 11, 2025 - Wednesday, July 2, 2025 5:00 p.m.
10	On-campus selection results	Around Tuesday, July 8, 2025 . <u>Applicants who are selected for recommendation will be notified by Kyushu University Primary Mail Service. Applicants who do not receive this notification email on the day on-campus selection results are announced will be considered non-recommended.</u>
11	Required Documents(for on-Campus Selection)	(1)Application form for on-campus selection (2) Transcript(a copy is acceptable)
12	Required Documents(for Foundation)	<p>If you pass the on-campus selection process, the following documents are required.</p> <p>(1)Application Form 1 (Prescribed form: Word file) This form is not submitted to the Foundation, but is used when the person in charge of the university registers the data in the Foundation's registration system. Can be filled out in English.</p> <p>(2)Application Form 2 (Prescribed form: Word file) The application form must be prepared by data entry on a PC. However, the applicant's signature must be in his/her own handwriting.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Brief Summary of your research • Relationship between your research and telecommunications or information technology • In what way are you benefitting the relationship between your country and Japan through your experience studying in Japan • Main papers published(less than 5) • • Academic awards which you have received. • Language Proficiency • Main education and employment history, part-time jobs in Japan, and family members accompanying the applicant. <p>(3) Letter of recommendation from your supervisor (prescribed form: Word file) To be prepared by the supervisor using a PC data entry system. However, the signature must be handwritten.</p> <p>(1) must be submitted as a Word file, and (2) and (3) must be submitted as PDF files.</p>
13	Comment	For those who receive scholarships, grants for tuition and living expenses, salaries, etc. from other institutions, adjustments will be made so that the total monthly amount of such assistance and the amount of the grant from the Foundation will not exceed 100,000 yen. However, scholarships from universities are not subject to adjustment (must be funded by the university).

KDDI 財団
2026 年度助成募集要項

外国人留学助成

申請書類受付期間

2025 年 8 月 1 日（金）～ 8 月 15 日（金）17 : 00

（切厳守）

公益財団法人KDDI財団は、国際情報通信に関連した分野の助成を行うことによって、幅広い人々の国際間交流の振興を図り、世界の調和ある健全な発展に貢献することを目的として、情報通信またはこれと関連する事項をテーマとした研究に取り組む在日の外国人留学生に対し助成する。

1. 申込資格

(1) 日本以外の国籍を有する者

(日本と他国の重国籍を有する者は応募不可/対象国籍についてはp.5 <対象国籍>を参照)

(2) 在留資格「留学」を有する者

(3) 2026年4月1日現在 35才以下である者

(4) 申込時および助成期間中を通し、当財団が推薦を依頼する大学(以下、「指定校」)の修士課程または博士課程に正規学生として在籍する者(研究生、入学・編入学見込みの者は応募不可)

指定校の修士課程に在籍し、助成開始時または助成期間中に博士課程へ進学する者は、応募可。(進学後に在学証明書を提出)

助成開始時点(2026年4月)で博士課程3年在籍予定のものは学位取得を条件とする。

→「指導教授の推薦書」に学位の取得が見込まれることを必ず記述。

2. 研究内容

法律、政治、経済、社会、文化、技術の各分野において、情報通信またはこれと関連する事項をテーマとした研究に取り組んでいる者

3. 推薦

・指定校から推薦を得られた者

(6名まで可。ただし、同一国籍の学生が全応募数の半数を超えないよう調整)

・1名の指導教官につき推薦できる留学生は1名に限る。

4. 助成内容

(1) 対象人数 10名程度

(2) 開始時期 2026年4月1日

(3) 助成期間 6ヶ月または12ヶ月

(4) 助成金額 10万円(月額)

ただし、他の機関から奨学金、学費・生活費の援助を目的とする助成金、給与等を受給する者については、その援助額と当財団からの助成額の月額の合計が上記の額を超えないよう調整する。(奨学金の詳細については、申請段階で判る範囲の情報をシステムの該当欄に記述。)

***大学からの奨学金については、調整の対象外。(大学の資金であること。国、自治体等の資金により大学が支給する奨学金、研究支援金はこれに該当しない。)**

参考の為、大学からの奨学金についてもシステム該当欄に記述ください。

事務手続き

(1) 応募方法

「[助成申請システム](#)」より応募 *大学ご担当者様がシステムに入力。

(2) 提出書類

(申請時)

Ⅰ 学生

- a. 「Application Form 1」
- b. 「Application Form 2」
- c. 「指導教授の推薦書」

以上の書類を大学ご担当者様に提出。

*** 「a」は word、「b」「c」は PDF で提出。**

Ⅱ 大学ご担当者様

- ① 「a」を基に、システム入力
- ② 「b」「c」と「大学からの推薦書」（学長もしくは学部長）の PDF をシステムにアップロード

* a. 「Application Form 1」は、学生様より大学担当者様に **word** でご提出、大学担当者様がシステム入力される際の補助とする。財団への提出は不要。

* 提出いただいた書類は返却しない。

(3) 審査

- ・前年度に助成を受けた方の連続応募は可能であるが、評価の際に優先順位が低くなる場合がある。
- ・選考の際、国籍の配分に配慮する場合がある。

(4) 内定

内定は書類審査を経て、2026年1月中旬～2月初旬頃に大学窓口ご担当者へ通知する。
(審査の経過および内容についての問い合わせは受け付けません。)

(5) 決定

2026年3月開催の理事会にて決定

(6) 助成金等の贈呈

贈呈の詳細については、決定通知後に通知する。

その他

(1) 報告の義務

助成金受給者には、助成終了時に研究の結果を「Final Report」としてご報告していただきます。フォーマットはシステムに掲示する。

なお、報告の義務を怠った場合、助成金を返納していただく場合があります。

(2) 助成の停止、取消等

下記事項のいずれかに該当する場合は、助成の停止または取消を行う場合があります。

また、すでに給付した助成金の全額または一部を返納していただく場合もある。

- ① やむをえない事由(病気等)により研究を継続することが困難であると認められる場合
- ② 日本国内での研究の継続が困難な場合
- ③ 虚偽の申告または記載事項の一方向的な変更を行った場合
- ④ 受給者に人権侵害、環境への配慮を欠く等社会に反する行為が認められる場合
- ⑤ 受給資格を喪失した場合
- ⑥ その他当財団の助成の趣旨に反する事情がある場合

(3) 個人情報の保護と情報の開示について

個人情報については法律および当財団の内部規程に則り、適切な取り扱いを行う。

ただし、対象者の助成情報は原則として公開とし、当財団で発行する広報誌に掲載する。

(4) 当財団審査委員一覧は、[ウェブサイト](#)を参照すること。

以 上

対象国籍

・アジア地域

インド共和国、インドネシア共和国、カンボジア王国、スリランカ民主社会主義共和国、タイ王国、ネパール、パキスタン・イスラム共和国、バングラデシュ人民共和国、東ティモール民主共和国、フィリピン共和国、ブータン王国、ブルネイ・ダルサマール国、ベトナム社会主義共和国、マレーシア、ミャンマー連邦共和国、モルディブ共和国、モンゴル国、ラオス人民民主共和国

・中東地域

アフガニスタン・イスラム共和国、アラブ首長国連邦、イエメン共和国、イスラエル国、イラク共和国、イラン・イスラム共和国、オマーン国、カタール国、クウェート国、サウジアラビア王国、シリア・アラブ共和国、トルコ共和国、バーレーン王国、ヨルダン、レバノン共和国、パレスチナ

・太平洋州地域

キリバス共和国、クック諸島、サモア独立国、ソロモン諸島、ツバル、トンガ王国、ナウル共和国、ニウエ、バヌアツ共和国、パプアニューギニア独立国、パラオ共和国、フィジー共和国、マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦

・欧州地域

アゼルバイジャン共和国、アルバニア共和国、アルメニア共和国、アンドラ公国、ウクライナ、ウズベキスタン共和国、エストニア共和国、カザフスタン共和国、キプロス共和国、ギリシャ共和国、キルギス共和国、クロアチア共和国、コソボ共和国、サンマリノ共和国、ジョージア、スロバキア共和国、スロベニア共和国、セルビア共和国、タジキスタン共和国、チェコ共和国、トルクメニスタン、ハンガリー、ブルガリア共和国、ベラルーシ共和国、ポーランド共和国、ボスニア・ヘルツェゴビナ、北マケドニア共和国、マルタ共和国、モルドバ共和国、モンテネグロ、ラトビア共和国、リトアニア共和国、リヒテンシュタイン公国、ルーマニア

・アフリカ地域全諸国

・中南米地域全諸国

*地域、国については[外務省ホームページ](#)に基づく情報です。

Nationality

• Asian Region

Republic of India, Republic of Indonesia, Kingdom of Cambodia, Democratic Socialist Republic of Sri Lanka, Kingdom of Thailand, Nepal, Islamic Republic of Pakistan, People's Republic of Bangladesh, Democratic Republic of East Timor, Republic of the Philippines, Kingdom of Bhutan, Brunei Darussalam, Socialist Republic of Vietnam, Malaysia, Federal Republic of Myanmar, Republic of Maldives, Mongolia, Lao People's Democratic Republic

• Middle East

Islamic Republic of Afghanistan, United Arab Emirates, Republic of Yemen, State of Israel, Republic of Iraq, Islamic Republic of Iran, Sultanate of Oman, State of Qatar, State of Kuwait, Kingdom of Saudi Arabia, Syrian Arab Republic, Republic of Turkey, Kingdom of Bahrain, Jordan, Lebanon, Palestine

• Pacific States Region

Republic of Kiribati, Cook Islands, Independent State of Samoa, Solomon Islands, Tuvalu, Kingdom of Tonga, Republic of Nauru, Niue, Republic of Vanuatu, Independent State of Papua New Guinea, Republic of Palau, Republic of Palau, Republic of Fiji, Republic of the Marshall Islands, Federated States of Micronesia

• Europe Region

Republic of Azerbaijan, Republic of Albania, Republic of Armenia, Principality of Andorra, Ukraine, Republic of Uzbekistan, Republic of Estonia, Republic of Kazakhstan, Republic of Cyprus, Republic of Greece, Kyrgyz Republic, Republic of Croatia, Republic of Kosovo, Republic of San Marino, Georgia, Slovak Republic, Republic of Slovenia, Republic of Serbia, Republic of Tajikistan, Czech Republic, Turkmenistan, Hungary, Republic of Bulgaria, Republic of Belarus, Republic of Poland, Bosnia and Herzegovina, Republic of North Macedonia, Republic of Malta, Republic of Moldova, Montenegro, Republic of Latvia, Republic of Lithuania, Principality of Liechtenstein, Romania

• All countries in the African region

• All countries in the Latin America region

*The information on regions and countries is based on [the website of the Ministry of Foreign Affairs of Japan.](#)